



平成 26 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社セイヒョー  
代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一  
(コード番号2872 東証第 2 部)  
問合せ先 管理部 課長 田畑 大吾  
TEL 025-386-9988

## 特別損失の計上及び平成 26 年 2 月期通期業績予想値と通期実績値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 2 月期において、減損損失を特別損失に計上するとともに、平成 26 年 2 月 25 日に公表いたしました平成 26 年 2 月期通期業績予想値と本日公表の平成 26 年 2 月期通期実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失(固定資産の減損損失)の計上について

当社の保有する固定資産において、稼働休止状態にある固定資産を遊休資産と判断し、減損損失として 18 百万を特別損失に計上しております。

#### 2. 平成 26 年 2 月期 通期業績予想と実績値との差異

(平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	3,538	△49	△20	△17	△4.14
実績値 (B)	3,585	△60	△31	△76	△18.68
増減額(B-A)	47	△11	△11	△59	
増減率(%)	1.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 2 月期)	3,700	26	57	53	12.65

#### 3. 業績予想との差異の理由

在庫調整による製造工場の操業低下等により、固定費の吸収が困難になったことにより売上総利益を圧迫いたしました。加えて、稼働休止状態にある固定資産を遊休資産と判断し、減損損失として 18 百万円を特別損失に計上いたしました。また、当期及び今後の業績を勘案し、当社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました結果、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を計上いたしました。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益については、前回発表予想を下回る結果となりました。

以上